

17. 眼科（選択）

1. 一般目標（G I O）

頻繁に遭遇する眼科領域の疾患に適切に対応できるよう、眼科プライマリーケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を修得する。

2. 具体的目標（S B O s）

（1）経験すべき症状・病態・疾患

1) 頻度の高い症状に適切に対応できる

- ① 視覚障害、視野狭窄
- ② 結膜の充血

上記をおこす疾患について自ら診療し、鑑別診断を行い、レポート提出。

また、眼科的主訴から他科疾患を疑い、専門医を紹介する能力を身につける。

（耳鼻科、内科、脳外科、神経内科、皮膚科等）

2) 緊急を要する症状・病態を把握できる

- ① 急性感染症 眼科的なもの：流行性角結膜炎、その他

他科との関係があるもの：敗血症、髄膜炎、真菌症、特殊なウイルス感染

- ② 外傷の初期治療に参加する
- ③ 熱傷の初期治療に参加する

3) 経験が求められる疾患・病態を説明できる

* 印疾患については、外来診療又は、受持ち入院患者で自ら経験すること

- * 屈折異常（近視、遠視、乱視）
- * 角結膜炎（特に流行性角結膜炎）
- * 白内障
- * 緑内障

糖尿病性網膜症・高血圧、動脈硬化による網膜症

4) 特定の医療現場に参加する

- ① 救急医療の現場を経験すること
 - ・ 眼外傷の初期治療を経験する。
 - ・ 専門医への適切なコンサルテーションができること。
- ② 予防医療の現場を経験すること
 - ・ 職場検診、人間ドック等への参加。

③ 地域保健・医療の現場を経験すること

- ・病診連携について理解し、実践する。

④ 小児・成育医療の現場を体験すること

- ・乳幼児検診、学校検診への参加、市の発達障害センターの見学。
- ・未熟児網膜症の定期的な検診、母子健康手帳を理解し、活用する。

3. 方略

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	入院・外来 患者の診察 光凝固術	入院・外来 患者の診察 入院手術	入院・外来 患者の診察 光凝固術	入院・外来 患者の診察	入院・外来 患者の診察 光凝固術
午後	視野 VEP等 特殊検査 光凝固術 未熟児	外来、入院 手術	蛍光眼底 撮影等特殊検査 光凝固術	入院手術	緑内障等 特殊検査 光凝固術 未熟児眼底 検査
17:00 ～	外来カンファ	術前・術後 カンファ	症例検討会 各種勉強会	術後カンファ	

4. 評価

(1) 形成的評価

各疾患の外来・入院患者を上級医師と診察し、カンファレンス等でそれぞれ経験した疾患に対するレポートを発表することで、正しい病態の知識や診療技能の修得に役立つ。

(2) 総括的評価

具体的目標に挙げた眼科疾患における診療態度、技能をEPOC2に従って評価する。